

第12期(2010年3月期) 第2四半期決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

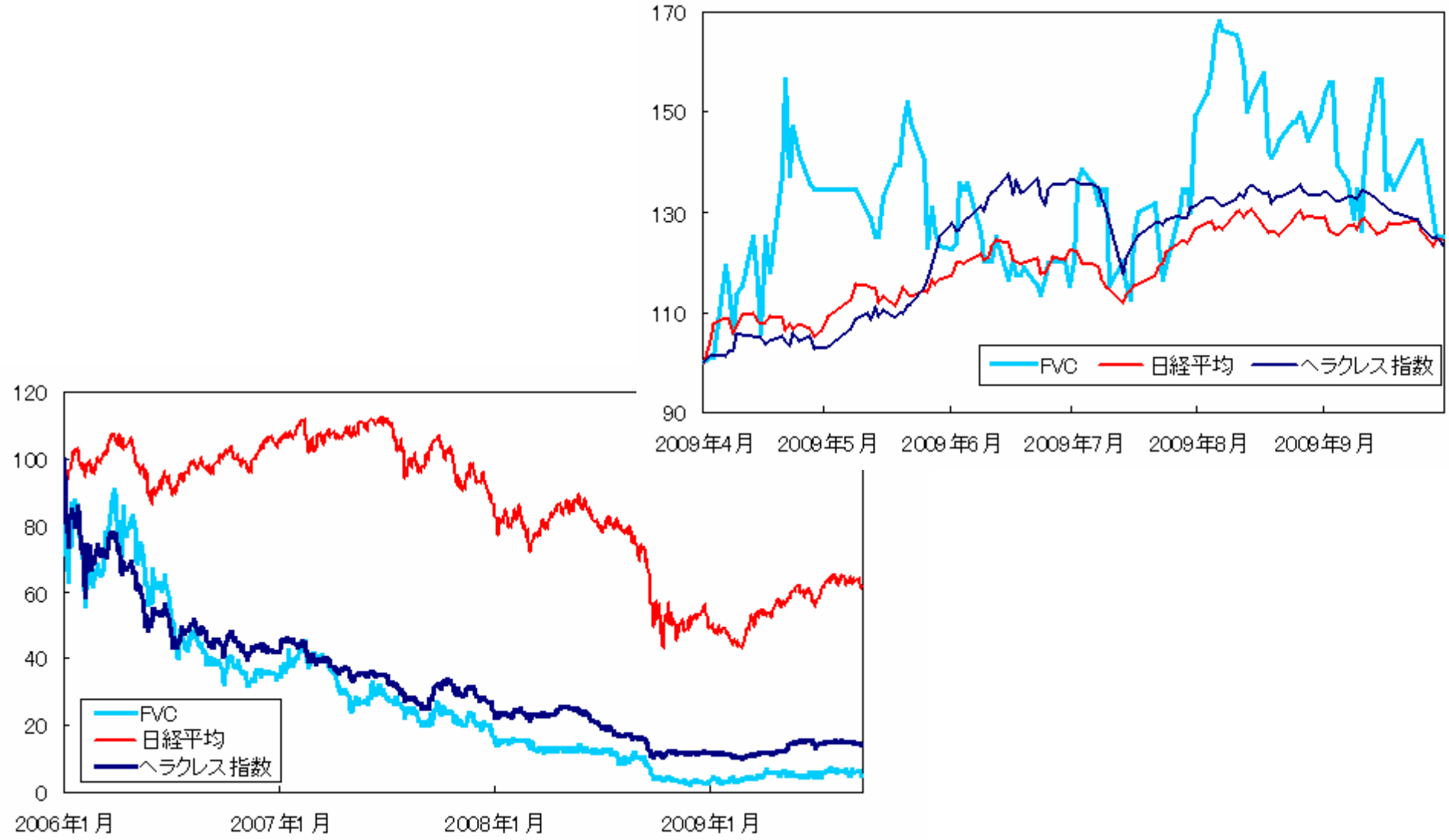
この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2009年9月末現在のものです。

1.	経営環境	・・・	3
2.	直近5年間の歩み	・・・	5
3.	第12期第2四半期決算概要	・・・	6
4.	投資活動の状況	・・・	10
5.	対処すべき課題	・・・	13

**【参考】 連結決算数値
個別損益状況の検討資料
会社概要**

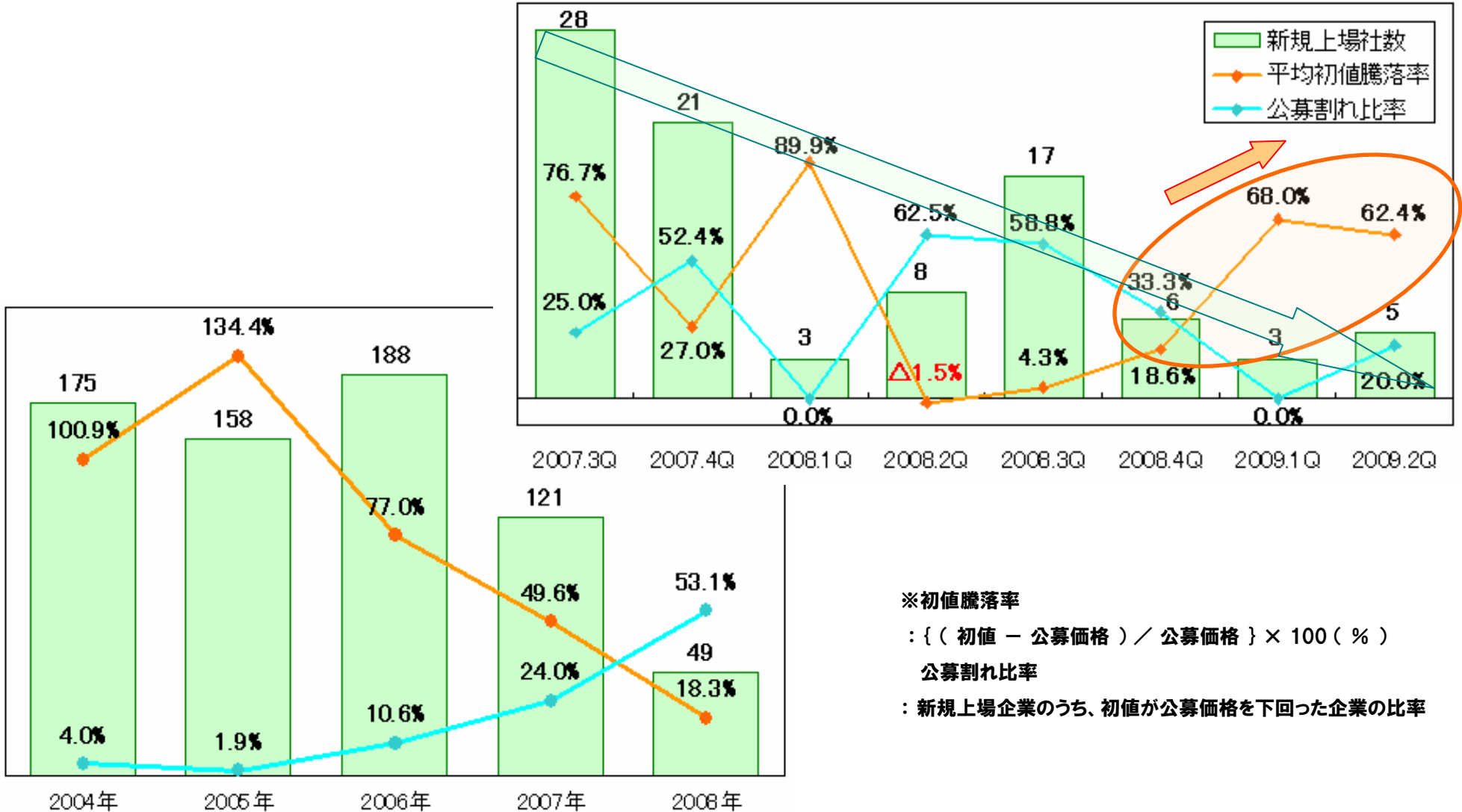
1.1.株式市場の状況

当期の株価は回復基調で推移しているものの、新興市場の低迷はまだまだ続く



1.2.新規上場市場の状況

当期に入り初値騰落率は回復傾向にあるが、新規上場社数の減少傾向は2009年に入っても変わらず
 ⇒投資先企業の上場による収益確保は依然困難



※初値騰落率

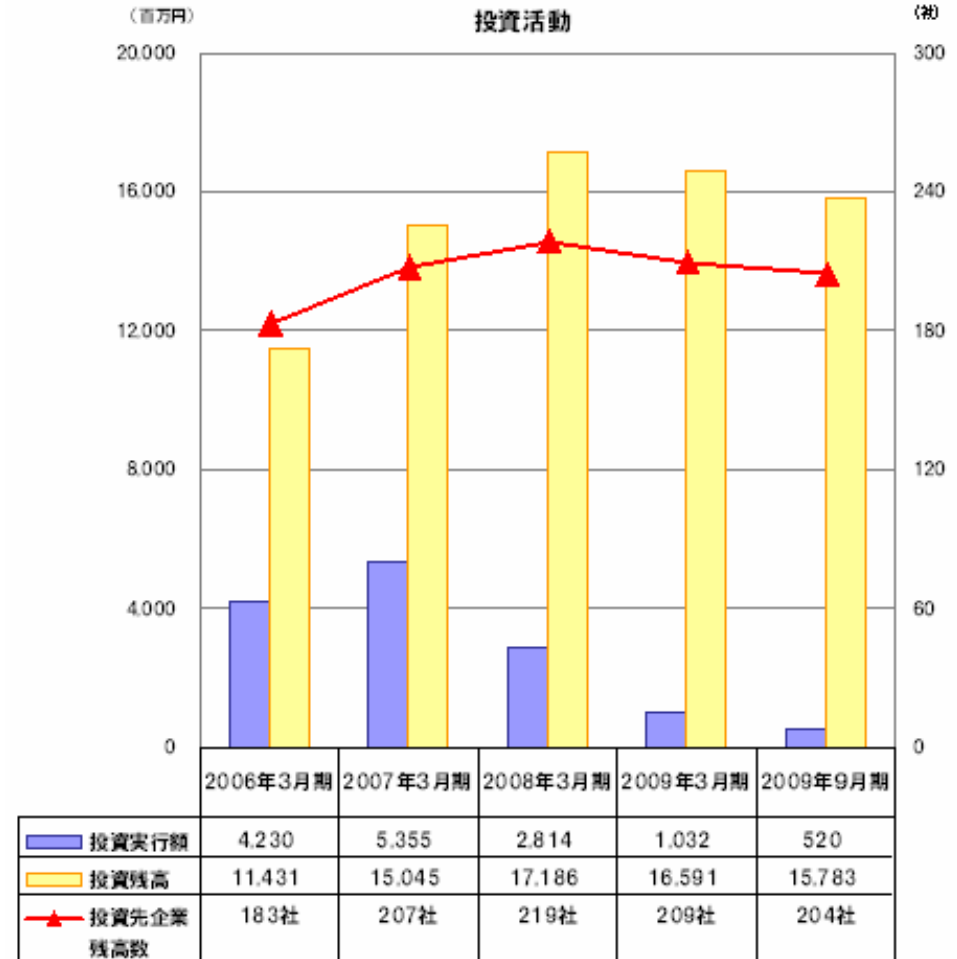
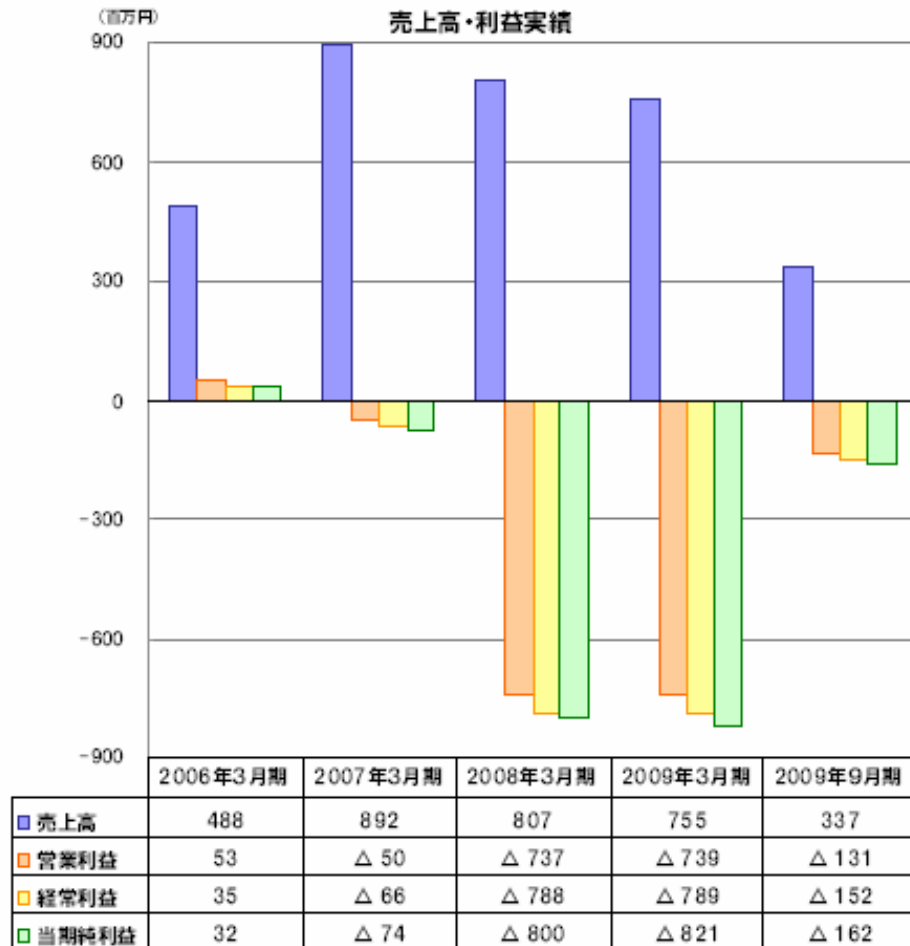
：{(初値 - 公募価格) / 公募価格} × 100 (%)

公募割れ比率

：新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

2.直近5年間の歩み(1)

経済環境悪化の影響を免れず、4期連続の赤字見込 投資活動は縮小傾向にある



「投資実行額」「投資残高」は左軸 「投資先企業残高数」は右軸

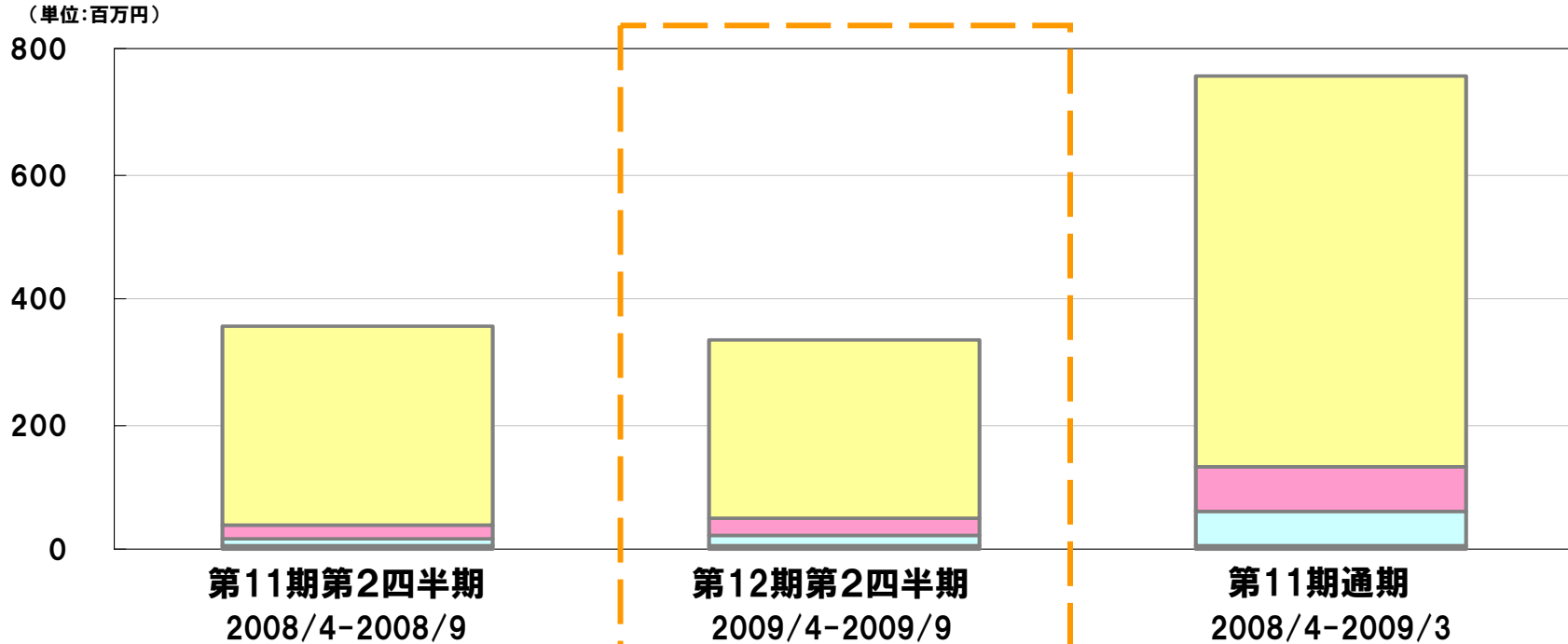
3.1.第12期第2四半期決算(2009年9月)

162百万円の最終赤字ながら、経費削減及び未実現損失の減少により、赤字幅は縮小

	第11期第2四半期 2008/4-2008/9	第12期第2四半期 2009/4-2009/9	第11期通期 2008/4-2009/3
売上高	356百万円	337百万円	755百万円
営業損失(△)	△236百万円	△131百万円	△738百万円
経常損失(△)	△262百万円	△152百万円	△789百万円
当期純損失(△)	△286百万円	△162百万円	△821百万円
純資産	1,408百万円	708百万円	871百万円
総資産	3,387百万円	2,260百万円	2,565百万円
自己資本比率	41.6%	31.3%	34.0%

3.2.売上高の内訳・前年比較

投資事業組合管理報酬の減少が響き減収となった

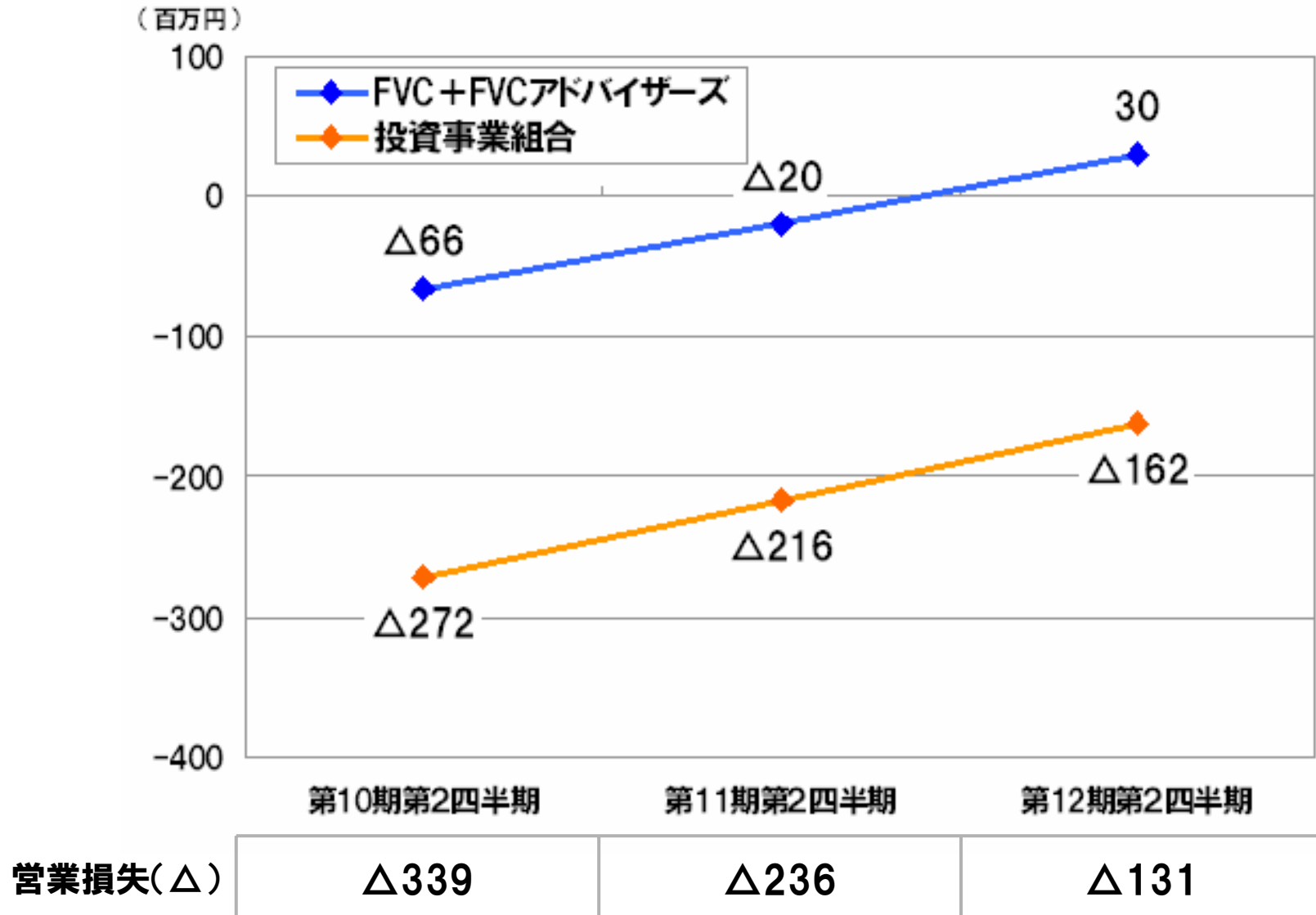


(単位:百万円)

投資事業組合管理業務	315	88.5%	287	85.1%	622	82.4%
コンサルティング業務	25	7.2%	28	8.5%	69	9.2%
営業投資有価証券売上高	10	3.0%	17	5.2%	56	7.4%
その他	4	1.3%	4	1.2%	7	1.0%
計	356	100.0%	337	100.0%	755	100.0%

3.3. 営業損益内訳推移

経費削減の効果により投資事業組合を除いた損益は黒字化



3.4. 営業投資有価証券にかかる損益の詳細

未上場売却での損失計上に加え、想定以上の投資損失引当金繰入が発生し、投資損益が赤字に

(単位:千円)

	上場 有価証券	未上場 有価証券	減損	投資損失引当金 新規繰入	合計
①営業投資有価証券 売却高 ※1	3,888	12,454	-	-	16,343
②売却原価	958	163,870	54,209	-	219,039
③売買損益 (①-②)	2,930	△151,416	△54,209	-	△202,695
④投資損失引当金 繰入額(△戻入額)	-	※2 △128,425	△47,974	96,820	△79,578
会計上損益 (③-④)	2,930	△22,991	△6,235	△96,820	△123,116

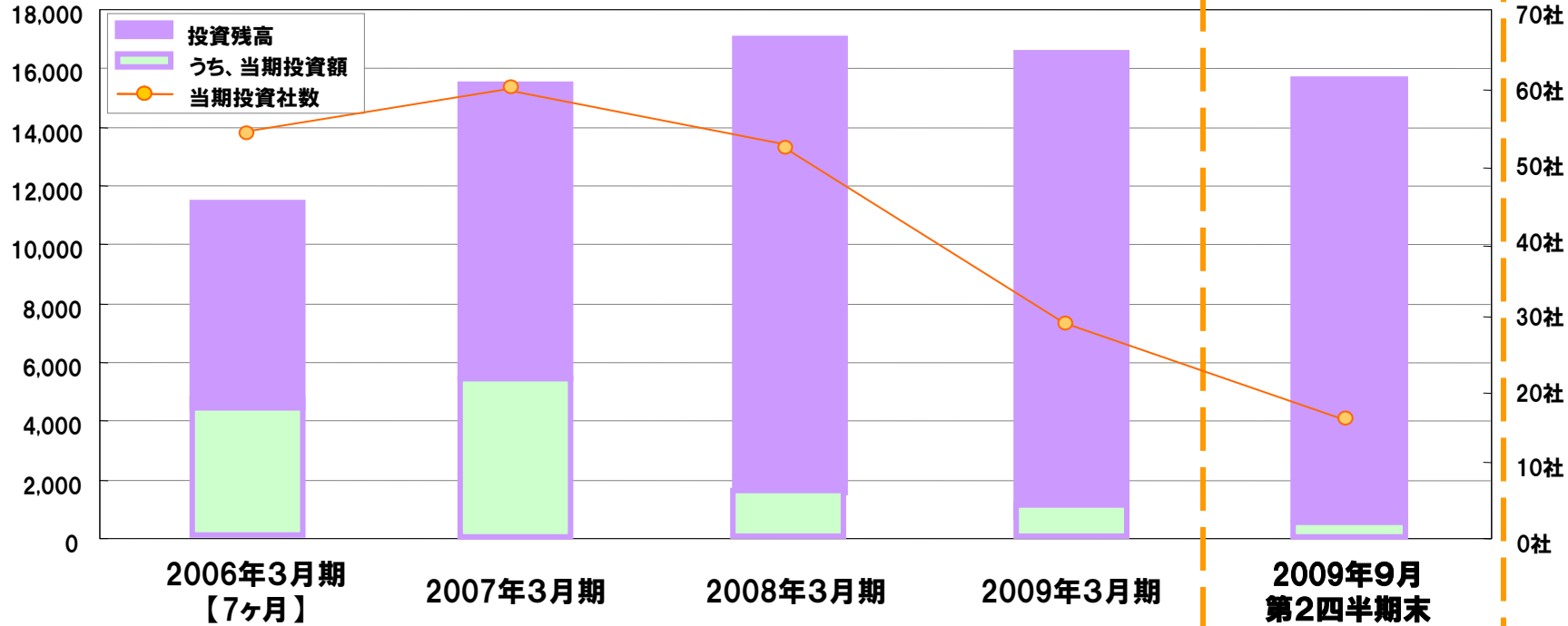
※1 損益計算書上の「営業投資有価証券売上高」には、投資先企業株式・債券からの配当・利子を含むため、本表の数値とは異なります。

※2 未上場有価証券の投資損失引当金繰入額(△戻入額)には、社債償還等による戻入額が含まれています。

4.1.投資金額・社数の推移

2009年3月期以来、投資残高は減少傾向

(単位:百万円)



(単位:百万円)

投資残高	11,471	15,045	17,186	16,591	15,783
うち、当期投資額	4,270	5,355	2,814	1,032	520
当期投資社数[右軸]	55社	62社	52社	29社	16社

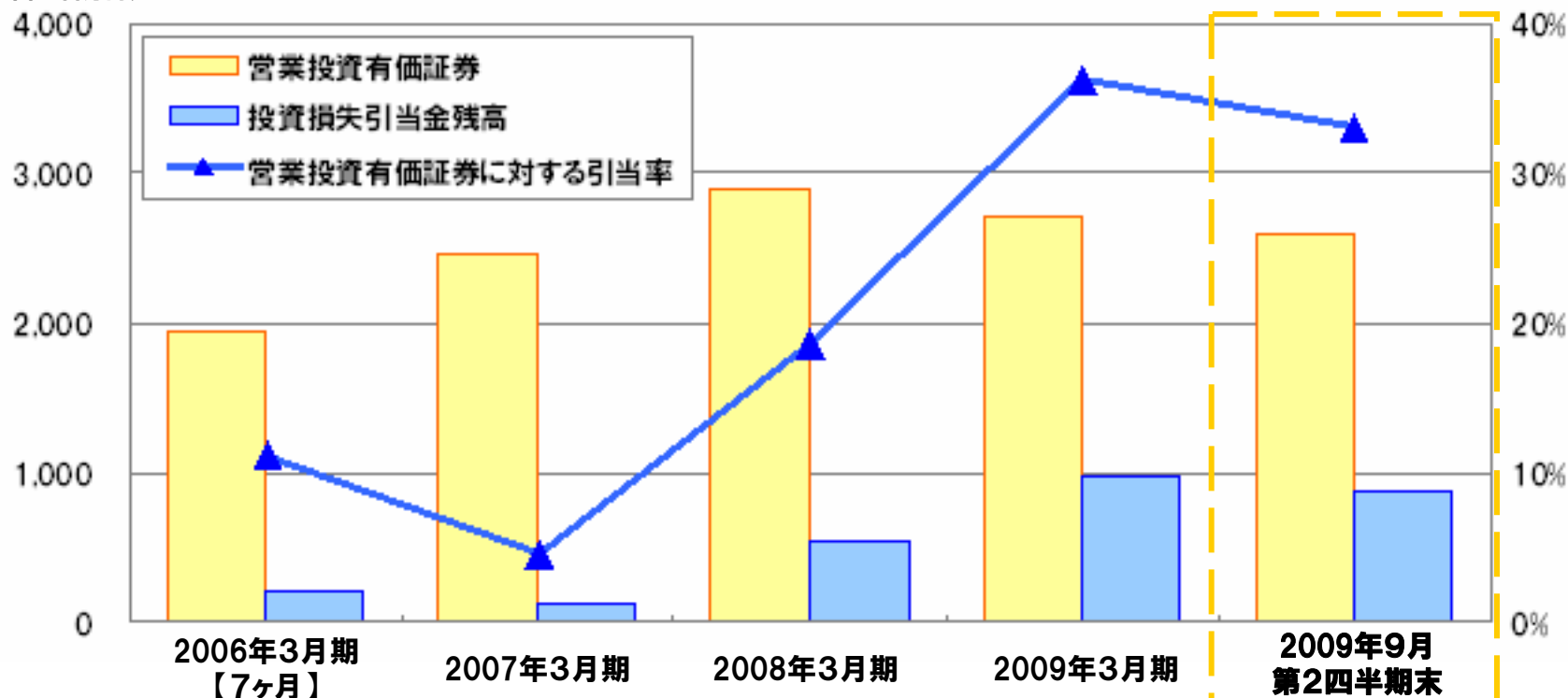
1社当たり投資金額*	77.6	86.3	54.1	35.6	32.6
------------	------	------	------	------	------

※ 1社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

4.2. 営業投資有価証券と投資損失引当金の推移

未上場売却により投資損失引当金が戻入超過となり、引当率は減少

(単位:百万円)



(単位:百万円)

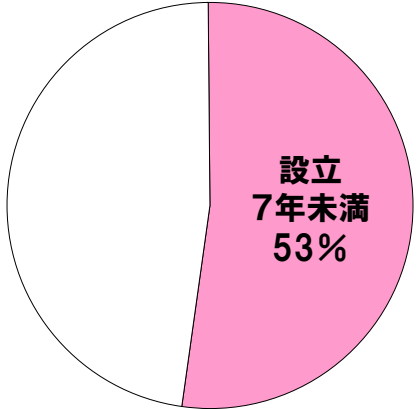
項目	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2009年9月 第2四半期末
営業投資有価証券	1,927	2,463	2,900	2,700	2,504
引当金繰入額 (△戻入額)	△4	△100	384	449	△79
引当金残高	212	112	540	977	898
営業投資有価証券 に対する引当率	11.0%	4.6%	18.6%	36.2%	35.9%

4.3.投資残高ポートフォリオ（2009年9月末現在）

投資残高金額 15,783百万円 投資残高社数 204社

(金額ベース)

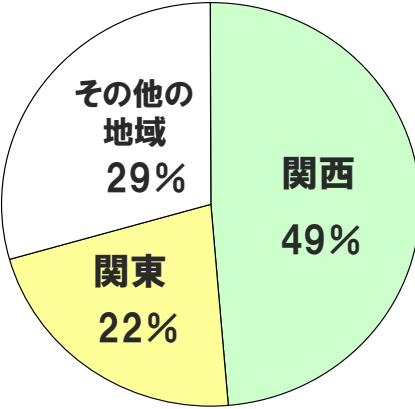
設立年別分類



※追加投資においても初回投資時点の設立経過年数で計算しております。

(金額ベース)

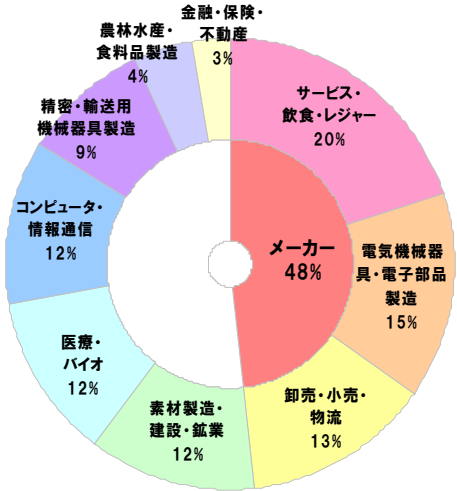
地域別分類



関西・・・大阪(21%)、京都(14%)、兵庫(8%)、その他(6%)
 関東・・・東京(17%)、その他(5%)
 その他の地域・・・東北(11%)、北陸(9%)、その他(9%)

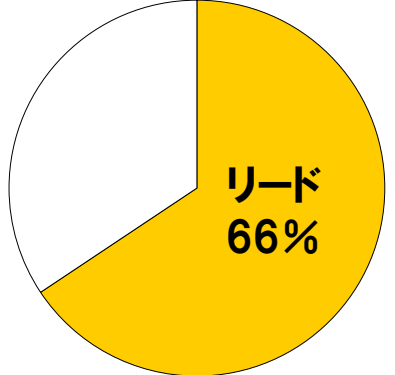
(金額ベース)

業種別分類



(社数ベース)

リードインベスターとして投資している案件



※初回投資時点を基準に計算しております。

29社に非常勤役員を派遣しています。

5.1.対処すべき課題

投資先企業価値の向上

当社の特徴である「アーリー」「地域」での投資活動が十分な成果を生んでいない状況
⇒当社経営資源を一部の投資先企業に集中投入する投資育成体制

経営の安定化

投資事業組合の管理報酬に代表される安定的収入により、経常支出を賄う体制の維持
⇒売却ルート強化、収益軸の補強、自己資本の拡充により、財務体質をさらに強化

【参考】連結貸借対照表推移 (主要項目抜粋)

(単位:百万円)

	第11期 期末 2009年3月末	第12期 第2四半期末 2009年9月末	増減額	備 考
流動資産	15,114	13,819	△1,295	
現金及び預金	4,773	3,846	△926	主としてファンド組み入れの進捗(当期520百万円)により減少
営業投資有価証券	16,591	15,783	△808	売却(同875百万円)、減損(同438百万円)の影響が新規投資を上回ったため減少
投資損失引当金	△6,279	△5,842	436	引当済未上場株式の売却が進んだため、投資損失引当金残高は減少
その他	29	32	3	
固定資産	156	128	△27	
流動負債	660	601	△59	
固定負債	1,303	1,229	△73	
純資産	13,306	12,116	△1,189	
株主資本、評価・換算差額等	874	709	△164	当期損失の影響から株主資本は縮小
少数株主持分	12,431	11,405	△1,026	主として投資損失引当金繰入、減損により、ファンド出資者持分が目減りしたため減少
総資産	15,270	13,947	△1,322	

【参考】連結損益計算書推移 (主要項目抜粋)

	第11期 第2四半期 2008年9月	第12期 第2四半期 2009年9月	増減額	備 考
売上高	70	125	55	
投資事業組合管理収入	-	-	-	個別決算での主要売上であるファンドからの管理報酬等は、連結決算では内部取引となるため相殺
営業投資有価証券売上高	40	93	53	未上場株式の売却推進により増加
その他	29	32	3	
売上原価	1,108	1,039	△69	
営業投資有価証券売上原価	598	1,314	715	売却の増加(668百万円)、減損の拡大(47百万円)により増加 なお売却有価証券の多くは、予め投資損失引当金を積み上げていたものであり、投資損失引当金の戻入と両建てで計上している
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	292	△436	△729	上記投資損失引当金の戻入により、減少
その他の売上原価	218	162	△55	営業関連経費(営業部門の人件費含む)の削減により減少
売上総損失(△)	△1,038	△913	124	経費削減、運用損失の減少により、赤字幅が縮小
販売費及び一般管理費	153	123	△30	経費削減の影響により減少
営業損失(△)	△1,192	△1,036	155	
経常損失(△)	△1,212	△1,056	156	
税引前当期純損失(△)	△1,230	△1,060	169	
少数株主損失(△)	△877	△904	△27	連結しているファンドに帰属する損益のうち、当社以外の外部出資者持分に係る損益を控除するもの
当期純損失(△)	△363	△163	200	

【参考】本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の**当社持分のみを連結した財務数値を記載**しております。

【連結の対象となる子会社及び投資事業組合】

連結子会社 : 100%出資子会社1社 投資事業組合31組合
出資金総額 : 32,288百万円
(うち、外部出資者の持分 27,541百万円)

【投資事業組合を連結した場合の影響】

投資事業組合を連結することにより外部出資者の持分が連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

○連結貸借対照表

- ・**自己資本比率が低下します。**外部出資者の持分が「総資産」に含まれるためです。

○連結損益計算書

- ・外部出資者の持分が売上や売上原価に含まれるため、**損益にも外部出資者の持分が含まれます。**
外部出資者の持分である損益は、最終的に「少数株主利益」又は「少数株主損失」として控除されます。
- ・**投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、売上に計上されなくなります。**

※表示単位未満の数値処理の影響により、合計額が一致しない等のずれが一部に生じております。

【参考】個別損益状況の検討資料（主要項目抜粋）

個別損益計算書では営業損失(K)、当期純損失(L)を計上しているものの、
 本体で発生した損益を勘案した修正営業損益(M)、修正当期純損益(N)は黒字化

(単位:千円)

		2006年3月期 (7ヶ月)	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期 第2四半期
A	管理報酬等	391,165	627,193	682,364	622,846	287,259
B	営業投資有価証券売上高	12,353	151,881	33,279	56,026	17,254
C	その他の売上高	84,992	113,881	91,522	76,884	27,798
D	売上高合計	488,510	892,955	807,165	755,757	332,311
E	営業投資有価証券売上原価	39,461	147,162	35,798	130,291	164,829
F	組合費用	49,904	75,159	202,689	123,813	47,418
G	減損・投資損失引当金繰入又は戻入(△)	△1,135	△11,177	412,409	559,962	△25,369
H	その他の売上原価	1,074	1,495	1,463	868	140
I	売上原価合計	89,304	212,639	652,359	814,936	187,018
J	販売費及び一般管理費	346,161	730,307	891,751	679,761	281,609
K	営業利益又は営業損失(△)	53,044	△49,991	△736,947	△738,940	△136,316
L	当期純利益又は当期(四半期)純損失(△)	32,017	△74,657	△800,272	△821,480	△166,582

M	修正営業利益又は営業損失(△)	128,921	9,272	△119,330	19,100	33,308
N	修正当期純利益又は当期(四半期)純損失(△)	107,894	△15,394	△182,655	△63,440	3,042

$$M = K - B + E + F + G, \quad N = L - B + E + F + G$$

B, E, F, Gは当社が管理している投資事業組合において発生し、当社個別損益計算書に取り込んだもの

【参考】 会社概要 (2009年9月末現在)

- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 1,911百万円
- 発行済株式総数 : 34,507株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所ヘラクレス (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 43名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など